

# 鷺羽山の古墳をたずねてみよう！

日時：2018年1月14日 9:30～ 場所：鷺羽山ビジターセンター

## 鷺羽山の古墳群について

### ■古墳群の概要

瀬戸内海有数の景観美を誇る鷺羽山には、6世紀後半（古墳時代後期）に築かれた数基の古墳があり、「鷺羽山古墳群」と呼ばれています。今日は、貴重な文化財であるこれらの古墳を訪ね、鷺羽山に生きた人々の歴史に思いを馳せてみましょう。

鷺羽山古墳群は、1～3号墳の3基からなります。鷺羽山には他にも若干の古墳があったようですが、開発によって破壊されたり、古墳かどうかははっきりしないものもあり、現在わかりやすいのはこの3基だけです。

古墳は、西から1～3号墳と番号が付いています。いずれもかなり損壊しており、本来の規模や形状はよく分かりません。今回は見学の順に合わせて、3号墳から説明します。

3号墳は、石室の側壁と、崩落した天井石の一部が残っています。海に向いた南側が石室の入り口側、北側が奥側にあたります。

2号墳は天井石が1個露出しているだけで、石室の規模や形状は全く不明です。

1号墳は天井石を完全に失い、半ば土に埋もれた側壁の石が残るだけですが、注意して見るとげんしつ玄室とせんどう羨道からなる石室の輪郭をたどることができます。

### ■古墳に葬られた人たち

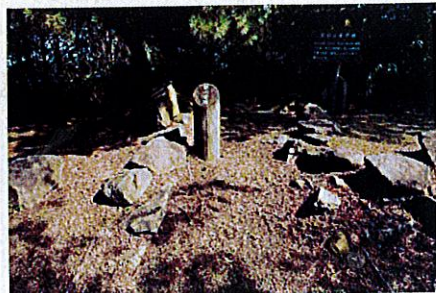
鷺羽山の古墳群に葬られたのは、ふもとの集落を治める有力者、いわば村長さんのような人たちだったと思われます。自分たちが治める集落、そして瀬戸内海の島々を見渡せる鷺羽山の山頂は、彼らの墓所としてふさわしい場所だったでしょう。ところで当時の鷺羽山周辺には、農耕に適した平野はほとんどなかったと思われます。そこに暮らす人々は、海でのさまざまな生産活動、つまり漁業や製塩業を生活の基盤にしていたと考えられます。実際、鷺羽山のふもとや沖合の島々には、多くの製塩遺跡が知られています。鷺羽山の古墳群に眠るのは、そのような「海の人々」を統率する有力者たちに違いありません。



鷺羽山 3号墳



鷺羽山 2号墳



鷺羽山 1号墳